

最近の動き

代表 目良浩一

日本政府の思惑は、昨年末の日韓合意によって、慰安婦問題を「最終的に」そして「不可逆的に」解決してしまおうという目算であったと思われませんが、現実の動きは、全く逆流しています。懸案となっているソウルの日本大使館前の慰安婦像の撤去は全くメドがついていません。其ればかりか、今年初めから元慰安婦と言われている韓国の年配の女性の米国訪問が激化しています。2月から3月にかけて、米国東海岸に、二人の元慰安婦と言われる女性が来訪して、数カ所の都市を回りました。3月には、イ・ヨンス女史がロスアンゼルスにきて、会合で支援を訴え、市から表彰状を受け取りました。4月22日には、テキサス・グラスの南メソジスト大学に、二人の元慰安婦が訪れて、彼女らの生涯がいかに悲惨なものであったかを涙ながらに話しました。更に、4月27日には、全米日系人博物館ホールで、「沈黙が破られた」と称する慰安婦映画が上映されました。全米日系博物館ホールを使うことによって、あたかも、日系人が、韓国の慰安婦性奴隷説を支援しているかのような雰囲気を作られていました。

カリフォルニア州では、教育局が昨年来高等学校における世界史のカリキュラムに、慰安婦問題を追加する提案がなされてきましたが、2月末までの意見聴取期間を終えて、5月の公聴会を控えています。しかし、既に5月初旬にも拘わらず、日時がいまだにはっきりとはしていません。5月の公聴会に合わせて、いち早くサンフランシスコ市では、教育局が、教科書問題を取り上げて、かなりの反対があるにもかかわらず、多くの中国系賛成派によって議会における議事進行を操作して、4月26日に、議案を通したようです。

一方、例のグレンデール市では、4月5日に市長の任期を終えたナジャリアン氏が、日韓合意に敬意を表するという決議をしようとしたのですが、韓国側の抵抗でできなかったという事態が起きました。まったく、米国では、慰安婦問題は、決着していません。激化する傾向です。

日韓合意によって、解決したとは考えないでください。

GAHT-US に二人の新理事が就任しました

二人ともに日本の「歴史の真実を求める世界連合会」の会員ですが、今回米国のGAHTを強化するために、GAHT-USの理事に就任することになりました。一人は、国際政治に詳しい藤井巖喜氏です。氏は、ハーバード大学で、国際政治を研究されたのち、日米の保守政治家の連携に尽力し、『米中新冷戦：どうする日本』や『紛争輸出国アメリカ』などの著書があります。

もう一人は、細谷清氏で、氏はプラントメーカーを退職後に東京で近現代史の研究会を主唱し、最近では慰安婦問題などに関して国連が捏造された見解を表明していることに憤慨して、保守系の力を集合して国連に働きかける運動の牽引車となっている。

これらの方の加入によって、GAHT-US はより一層強力な活動が出来るであろう。

「Mos Maiorum (先祖の遺風)」を守る

(新) 理事 藤井巖喜 (国際政治学者)

我々の予測通り、韓国・中国による慰安婦問題を巡る反日宣伝は2016年に入って、益々、激化、エスカレートしてきました。これは目良先生の指摘される通りです。「日本＝性犯罪者国家」の烙印が世界中に広められており、アメリカにおいては特に酷い状況になっています。

にも関わらず、日本政府は日本国と国民の名誉を守る為は何ら積極的な行動をとっておりません。誠に残念極まりない事です。

我々民間人の有志に課せられた責務は誠に重大です。我々の努力は近い将来、日本国政府自身を動かす事になるでしょう。しかし、それまでは有志が、謂わばゲリラ戦的に頑張るしかないというのが現状です。

ローマ人の残したラテン語の言葉に「Mos Maiorum (モス・マヨルム)」があります。英語ではinherited tradition、日本語では「先祖の遺風」と訳されています。ローマ人が最も重んじたのはローマ法以上に、この先祖の遺風であったと言われています。ローマは共和制で500年、帝政で500年続きました。今日のヨーロッパの基礎を造ったのは、このローマ1000年の歴史です。何故、1000年も国家が持続できたかと言えば、それはローマ人がこの「Mos Maiorum」を何より重視したからだ、と言われています。法律よりも何よりもローマの伝統、そして各家に伝わる先祖伝来の遺風を重んじたのです。それ故に、ローマは1000年に渡って持続することができました。

我々が守らなければならないのは、現在の日本の名誉だけではありません。まさに我々自身のMos Maiorumを断固として守らなければならないのです。先祖の遺風とは即ち、先祖の名誉という事でもあります。日本民族の名誉を守る為、我々自身の名誉ばかりではなく、ご先祖の、そして未来の世代の日本人の名誉をも守る為、皆様と力を合わせて、大きな成果を上げてゆきたいと思っております。

国連での一連の活動と今後の予定

(新) 理事 細谷 清

第一号創刊号で触れました2月・3月の国連関係の活動と、今後の国連での人権委員会関係の予定を述べます。

1. ジュネーブでの女子差別撤廃委員会 (2月)

先ず2月にはジュネーブで女子差別撤廃委員会の日本政府第7・8回報告書の検討会が行われ、「慰安婦の真実国民運動」の派遣団の一員として傍聴と委員への働き掛けを行いました。

同委員会はこれまで慰安婦問題を積極的に取り上げて、日本政府の謝罪・賠償と教科書への記載等を求めて来ましたが、今回は事前に委員会に出されたNGOの意見書は、性奴隷慰安婦を否定する団体の提出数が肯定する団体の数を初めて上回る程に、皆さんが出しました。それだけ皆さんが国連の人権関係の委員会に関心を持ち出した証です。

また問題を判り易く解説した冊子を「慰安婦の真実国民運動」の支援を得て作り、委員会委員に配布しました。

委員会は報道されている様に、日本政府がこれも初めて「強制連行」・「20万人の奴隷狩り」・「性奴隷」を否定し、「朝日新聞の誤報道による世界的な拡散」を公言しました。

しかし政府報告書を検討した委員会が出した見解書は日本政府の説明を全く無視した従来通りの勧告でしたが、その見解書は唐突に皇室典範改正の勧告を出した事と併せて、却って同委員会の出鱈目を白日の下に晒しました。

2. ニューヨークでの婦人の地位委員会パラレルイベント (3月)

昨年に引き続き毎年開催されるこの会合に、今年は初めてパラレルイベントの行事に関係する2つの団体が参加しました。3月16日にGAHT主催で、同24日になでしこアクションが主催した講演会がそれです。

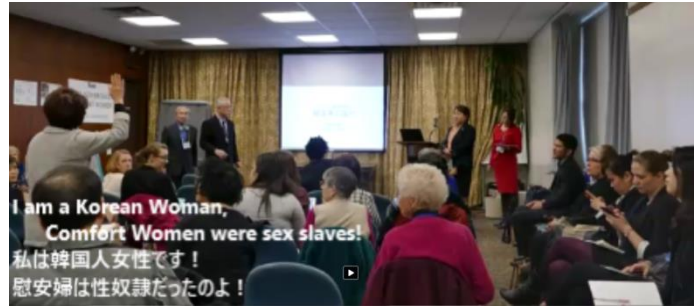
GAHTの会では「Misunderstood Comfort Women (誤解される慰安婦問題)」を主題に、目良浩一氏 (慰安婦は性奴隷ではなかった) ・杉田水脈氏 (ベトナムにおける韓国軍の行状) と私 (幻の日韓合意) が講演しました。性奴隷肯定派による開催の妨害や質疑時間で長々と「性奴隷」を主張する等の嫌がらせはありましたが、約70名の方が参加する程の盛況でした。

翌17日は市内で日本語による講演会を開きました。

24日は「Women's Rights under Armed Conflict - Japan's Approach to Respect Women - (戦時下での女性の人権-女性尊重の為の日本の取組み)」を主題に、7名の在米・在カナダ・日本の女性と目良代表が話しました。(第3頁で報告)

両講演会の様子は夫々のHPでダイジェストのビデオが掲載されておりますので、是非ご覧ください。

こうして性奴隷否定派の人達が国連の公式的な場で発表した事は画期的であり、有意義でした。



パラレルイベント講演会

左手に立っている女性は、講演も聞かず司会者の制止も聞かずに一方的に自分の意見を主張した朝鮮人の参加者

3. 慰安婦問題を取り上げる国連の人権関係委員会の今後の日程

今年二月の女子差別撤廃委員会できえも、委員会の報告書から謝罪や賠償の文字を消す事は出来ませんでした。

では次回は何時開催されるのでしょうか。右の図は条約に基づく日本の報告書提出期限と、予想される検討会の時期を示します。

女子差別撤廃委員会で言えば、次回提出は2020年3月で、検討会は翌年11月でしょうか。場合によっては2022年にずれ込むかもしれません。いずれにしても東京オリンピック後です。

その間に拷問等禁止、人種差別撤廃、社会権規約、自由権規約の各検討会が再来年の2018年からあります。国連が世界に広めた「慰安婦=性奴隷」の嘘の根元を断てるのは、早くても2021年、5年後です。

随分先の話ととる方もいるでしょうが、性奴隷肯定派が20年以上掛けて構築した「虚城」が、希望的観測とは言えこんなに早く崩せる見通しがついた事は、嬉しい事です。

慰安婦問題 国連での今後の予定 報告：政府報告書提出期限 検討：推定検討会開催時期

委員会名	直近の検討会	H28年(2016)	H29年(2017)	H30年(2018)	H31年(2019)	H32年(2020)	H33年(2021)	H34年(2022)
女子差別撤廃	H28/2	2月検討				3月報告	11月検討?	
自由権規約	H26/7			7月報告		3/6/10月検討?		
社会権規約	H25/5			5月報告		3/6/9月検討?		
拷問等禁止	H25/5		5月報告	11月検討?	(4/7月検討?)			
人種差別撤廃	H26/8		1月報告	8/11月検討?				
婦人の地位	(H28/3)	3月	3月	3月	3月	3月	3月	3月
人権理事会	(H28/3)	年3回	年3回	年3回	年3回	年3回	年3回	年3回

ニューヨークで女性が声を挙げる

なでしこアクション 代表 (GAHT-Japan 副代表) 山本優美子

「慰安婦は日本軍の性奴隷、日本は謝罪しなさい！」と国連で主張してきた、そして今でも主張している日本人女性たち(左派系)がいます。彼女らは団体を組織し、ジュネーブ国連の人権委員会に参加し、ニューヨーク国連でイベントを開催してきました。主張は私達とは違いますが、その手段と行動力には見習うべきものがあります。

私は、2011年に「正しい歴史を次世代に繋ぐネットワーク～なでしこアクション」を立ち上げ、女性がねつ造慰安婦問題に声を挙げることに取り組んできました。今では国内、海外に賛同してくれる女性がたくさんいます。昨年2015年3月、ニューヨーク国連「婦人の地位委員会」で開催されたパラレルイベントと呼ばれるNGOイベントに「慰安婦問題の真実と正義～第二次大戦時の日本軍性奴隷」というタイトルの集会がありました。日本のいわゆる左派系の複数の女性団体の共催です。

それなら次の2016年は、GAHTと協力して、二つのパラレルイベントを計画しました。なでしこアクションが主催して日本女性の本当の声をニューヨークで挙げてやろう！と決心して実現させたのが、2016年3月24日に開催した「Women's Rights under Armed Conflict – Japan's Approach to Respect Women – (戦時下での女性の人権-女性尊重の為の日本の取組み)」です。

このイベントでは目良浩一代表にもご登壇いただきました。他の登壇者はすべて一般の女性で、こうした場でのプレゼンテーションは初めての方がほとんどです。日本人、日系人、米国人、カナダからも来てくださり、とにかく今声を挙げなければと集まってくれました。豪州や英国の女性からもメッセージをいただきました。民間で開催する集会とは違って、国連の関連イベントですので、聴衆も様々な人種の方々です。70人収容の会議室が満席となりました。このパラレルイベントというのは2週間の間に約450も開催されています。その多くの中から私達のイベントに参加して下さったということは、タイトルや内容に関心が高かったからでしょう。

初めての試みとしては成功だったこのパラレルイベント。なでしこアクションの女性たちを応援し、実務でも大いに助けて下さったGAHTには感謝の念が堪えません。海外においては私たちと反対意見の勢力が強く、国連は特にリベラル左派の集まる場所です。同じ志の仲間の連携は非常に重要だということを改めて認識しました。実はこのパラレルイベント、登録料200ドル、ニューヨークのど真ん中の会議室で1時間半の集会を開催できます。もっと多く日本の保守系団体がこのシステムを使ってイベントを開催し、海外での主張の場、日本の素晴らしさを宣伝する場に利用すべきだと思います。

在米日本人と日系米国人

目良浩一

慰安婦像撤廃運動などを行っていて感じることは、在米日本人と多くの日系人とで対応が微妙に違う事です。多くの日本の人は、アメリカの日系人は皆、我々の味方になってくれるかと思っているかも知れませんが、現実はそのような事が多々あります。

アメリカに日本人が移民し始めたのは19世紀の末で、20世紀の初めに多くの日本人が西海岸を中心に移住しました。この流れは1924年に米国の法律で日本人の移民が禁止されるまで続きました。現在では、彼らの3世から5世が日系人の主体です。彼らの生活は楽ではなかったでしょうが、日本人らしい辛抱と努力によって、社会的な地位を得てきました。しかし折角得たその地位も名誉も、太平洋戦争が始まった直後に収容所に入れられ、全てを失う憂き目を見ました。そんなこんなでその方達は、日本が無謀にも米国を攻撃したから悲惨な目に遭ったと考えて日本を恨み、日本国や日本人の血を引いていることを誇らしく思う事よりも、日本との関わりを否定する傾向があります。

具体的にこの運動についていえば、日系弁護士会(JABA)は韓国系弁護士会と一緒に我々の行っている裁判に否定的な声明を発表したし、人権派のK. Yamaoka氏を代表とするグループは、KAFCと協力して慰安婦像の設立や慰安婦性奴隷説を吹聴しています。カ州の教育局の慰安婦性奴隷説を歴史教科書に入れる事にも積極的に賛成しています。全米日系博物館で、慰安婦映画Silence Broken が上映された時にも、彼女が10名くらいのグループを連れてきました。

このように、我々はそれ等日系人が異なった判断を持っていることに対して、彼らの今までの環境境遇がさせたものであると同情するとともに、日本の歴史に対する認識が不足しているためであると理解しています。

しかしこの慰安婦問題は日系米国人だろうが在米日本人だろうが、祖先の名誉・己が扱って立つ文化の名誉の問題であり、一致協力して分断されずに闘いたいのです。したがって、我々はこの様な日系人と歴史の真実を追求して理解を深める教育にもかなりの努力をする必要があると感じています。

編集後記:

「日韓合意」を厳密に言うと、「日韓政府間の合意」であって民間は含まれていないようで、米国での「彼方(あちら)」の運動は強まっていると思います。「日韓合意」でも米国に建てられた性奴隷の像も碑も取り除けません。

「撤去しろ」と声を挙げなければ、撤去出来ません、日本人に対する名誉棄損は止まりません、これが冷酷な現実です。

オバマ大統領が広島を訪問し、そこ広島で日米同盟の深化等の未来志向の関係を表明します。米国の「性奴隷慰安婦像」を撤去して同盟深化の象徴として欲しいです。(KH)

皆様のご支援

裁判の費用を主体とする経費は、当初は、皆様の熱狂的なご支援によって賄うことができました。

しかし、最近では、裁判は、上告の過程に入りましたので、書類提出が主体となり、ゆっくり進んでいますので、月々の費用は低下していますが、確実に掛かっています。特に、9月に支払う必要のあったアンタイスラップの罰金15万ドル余は、大きく響きました。一方、皆さんの財務的なご支援も自然に低下してきています。

右に示しましたローン必要額は、2015年7月を起点としていますが、その前からもありました。経年の動きを示すために、表示してあります。来る6月初旬にはやっと、連邦高等裁判所でこの件について開廷されますので、何らかの動きが出てきます。

一層のご支援をよろしくお願いします。

最近の財務状況 (円表示、1ドルを110円に換算)

年月	月毎の寄付金受領額	月毎の支出額	累積不足額(ローン金額)
	a	b	c=前残+(a-b)
2015年7月	840,799	8,570,304	7,729,505
8月	1,318,787	1,375,962	7,786,680
9月	941,814	26,023,860	32,868,726
10月	1,250,300	8,532,847	40,151,273
11月	1,099,285	1,026,592	40,078,580
12月	2,059,538	1,076,892	39,095,934
2016年1月	181,100	794,837	39,709,671
2月	962,610	5,898,985	44,646,046
3月	1,380,906	781,982	44,047,122
4月	276,947	7,380,828	51,151,003

銀行振り込み、小切手、クレジットカードによる円・ドル寄付金の合計

今後の方針

グレンデール市に対する裁判については、6月7日に開かれる連邦上級裁判所での審議の結果が、7月になって発表されると思われます。この決定が、裁判の将来にかなり大きな影響を持つてくると思われます。カリフォルニア州の裁判所への上告についての第一点は、アンタイスラップによる却下への挑戦です。これを通過すれば、本論に入ります。グレンデール市による連邦政府の権限への侵害、市条例の違反、日本人と日系人に対する不当な扱いが論点となります。これらは、恐らく、2017年にずれ込むでしょう。

それと同時に、慰安婦に関する国連や国際世論を歴史的な真実に沿った理解に転向させるために、地道な努力を続けます。英文による出版、講演会、印刷物の提供などを続けてゆきます。皆様の熱狂的なご支援を頂きたいと思えます。

嘘で日本人の名誉を侵害する像と碑の撤去を！

GAHTの活動を支えるために

活動資金の協力を、是非お願いします

■ 日本国内銀行振込による資金の提供

銀行名: 三菱東京UFJ銀行
ミツビシトウキョウウエフジエイギンコウ
支店名: 藤沢支店 (支店番号257)
口座番号: 0421906 普通預金口座
口座名: 歴史の真実の会 (レキシノシンジツノカイ)

ゆうちょ銀行もご利用ください。

銀行名: ゆうちょ銀行
振込口座名: 歴史の真実の会 (レキシノシンジツノカイ)
振込口座番号: 00180-0-292163

■ クレジットカードによる資金の提供をご希望の方

クレジットカードをご利用になり寄付、支援をご希望の皆様は、ウェブサイトから直接決済が可能です。

■ 米国内チェックおよび銀行振込での資金の提供

チェック宛先: GAHT-US Corporation
チェック送付先:
GAHT-US Corporation
1223 Wilshire Blvd, #613, Santa Monica, CA 90403

銀行名: UNION BANK Santa Monica Branch

口座名:
口座番号: 口座の情報は、メールにてお問合せください。
銀行電話番号: 1-800-238-4486

*領収書につきましては、お振込の書類を代用させていただきますが、別途領収書をご希望の方は「info@gahtusa.org」までメールにてご連絡ください。

URL: <http://www.gahtjp.org>